

ともに歩もう 新たな時代へ

第26回 写真コンテスト 最優秀賞「台風24号 I」 吉祥寺支部 富川 新一さん

あけましておめでとうございます

「自国第主義」を貫くドナルド・トランプ大統領は2017年1月の就任以来、その支持率を低下させることなく中国ロシアをはじめとした世界各国を相手に様々な軋轢や緊張を生んでいます。昨年11月の中間選挙においては共和党が下院で過半数を割ったものの、上院では議席を伸ばし、知事選挙においても全米50州の過半数を維持するなど戦略通りの「想定内の結果」に終わったトランプ大統領は、中国との貿易戦争、対イラン制裁、メキシコ国境強化など支持層に訴える戦略で基盤を維持し、国内でも自身に不都合な報道を弾圧する対メディア対策や野党民主党も好意的なインフラ整備や保護主義的通商政策などによって2020年の再選を見据えています。

また、日本国内を振り返りますと2018年は西日本豪雨、台風被害、北海道胆振東部地震などの自然災害によって多くの方が被害に遭われ、改めてお見舞い申し上げますとともに「日も早い復興を願っております」。

一方でこれらの被災地においても鉄道バスが運行不能となる中で、公共交通機関としてタクシーが地域の移動手段として大きく貢献したことの重要性を改めて、今も議論が続く「ライドシェア」解禁論者に問いかけたいと思います。

世界各国で先行してきた「ライドシェア」は多くの弊害を生み、多くの国で禁止または規制の対象となり始めています。中々、我々が中核となる全中労(全国自立労働政策推進会議)も参画している全国の旅客自動車産業にありますが8つの主要産別労働組合で行っている「国民の安心安全を阻害する白タク合法化反対」の運動は、国土交通省、厚生労働省、経済産業省、観光庁などに対する省庁交渉をはじめ、その後も各地域で広がりをみせ、「全国のハイタクバス労働者の生活を守る運動」として継続しています。

また、国内の一部のIT企業を中心として利益優先・安全度外視の事業展開を目論み、国へ提案を続ける「ライドシェア新法の制定」に対して、国土交通省は改めて「運行の責任を負う主体とは言いえない」などとして内閣府からの検討要請に対して回答しています。国民の安全を度外視し、責任を持たない利益



国際労働組合中央執行委員長 北里裕治

のみ新たな事業形態に対してこの業界が法令や厳しい規制の末に長い年月の中で積み上げてきた「安全安心のプロ」としての誇りが守られている状況となっています。

しかしながら「白タク導入」は阻止できている一方でこれまで触れてきましたとおり、外国系企業のプラットフォーム(通信等)による商品サービスの提供事業者が国内のタクシー会社と提携し、これに対抗する国内企業のDeNAやジャパンタクシーとともにシェア拡大のための「初乗り料金無料」や「迎車料金サービス」など様々なキャンペーンを展開し、競争は激化の一途を辿っています。

一方で国際自動車は、東京地区のタクシー会社4社と日本を代表する「SONY」とともに合計約10,000台規模で「みんなのタクシー」を設立しております。これまでも内外問わずプラットフォームが、この業界に参入してきています。このように我々が従事しますハイタクバス産業では事業の収益構造や労働者の働き方そのものが大きく変化し始める中で、国際労働組合では長きに亘り「既成概念や古い慣習に囚われない柔軟な組織」を目指しており、また「生産性と賃金の整合性」を基本とした考えのもと、これらの劇的な時代の変化に対してもしっかりと取り組んで参りますが、全組合員一人一人の理解とご協力が必要です。

国際労働組合は、業界における最大の規模の労働組合として、全組合員が自社のみならず旅客自動車業界においても大きな責任があるとの自覚をもっており、誇りと強さと進取の気性で新たな時代へ向かっていかなければならないと考えています。

50年以上に亘り積み重ねてきた先人の知恵と労働組合が持つ機能(要求・チェック・共済)などの力を最大限に発揮し、労働者としての生活を守り、明るく、夢と希望のもてる職場を創って参ります。

本年もより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、未筆ながら関係する全ての皆様のご健康とご家族の多幸を心より祈念申し上げます。あけましておめでとうございます。

また、昨年6月に可決成立した「働き方改革関連法」は本年4月以降、様々な見直しが始まります。主なポイントは①時間外労働の上限規制、②年次有給休暇の付与義務及び計画付与、③法定割増賃金の率引き上げ、となっております。

特に我々の業界にとっては時間外労働の上限規制こそ5年間の猶予があり、なおかつ年間960時間という特例措置

第42回 全中労定期大会



北里新全中労議長

全中労(全国中立労組政策推進会議)は、2018年11月21日(水)、日暮里ホテルラウンジにおいて、北海道・名古屋・東京より約70名の出席で、第42回定期大会を開催しました。

冒頭、2019年度の役員が紹介された後、北里議長(国際労働組合)より挨拶(別掲)があり、各地域議長(後藤 北海道議長、杉本 東海議長、小島 東京議長)の挨拶へと続き、2018年度活動報告及び2018年度会計報告 向会計監査報告が行われ、全会一致で承認されました。

続いて2019年度の運動方針予算が提案され、全会一致で可決された後、2019年度の役員を代表して、北里議長より挨拶がありました。

最後に田北幹事(国際労働組合)による大会宣言を採択した後、井上幹事(北見金星自動車労働組合)の音頭による力強い突き上げが行われ、大会は成功裡に終了しました。

全中労は、真の利用者利便の向上を目指すと同時に、ハイタク・バス産業に働く労働者が将来に希望の持てる産業であるために必要な政策・制度を提言し、安心・安全を提供する真の国策に適用活動を展開していきます。

北里全中労議長 挨拶

皆さんこんにちは。今年3月に全中労セミナーで皆さんにお会いしてから8ヶ月が経過しましたが、この間にタクシーをはじめとする、我々の業界を揺るがす出来事がいくつも起こっています。皆さんも日々そうした報道を耳にし、それぞれが将来に対する不安をお持ちだと思えます。

一つは、ソフトバンクが筆頭株主となっているDiiモビリティジャパンやUber等の、我々の業界の外からやって来た、あまりにも巨大で大きな力を持つ存在についてです。彼らは既に我々の業界に参入し、更に独自の技術や強大な資本力を使って配車アプリや決済機器を開発し、全国展開を開始しています。更には国内IT大手のDeNAが参入する話も神奈川と東京

で具体的に動き始めています。Diiモビリティジャパンは11月9日から12月1日までの期間限定で、金曜日・土曜日の初乗り運賃をすべて無料にする施策を大阪地区で行いました。東京でも皆さんご存知の通り、JAPAN TAXI(ジャパンタクシー)がそれに対抗すべく、先月から期間限定で毎週水曜日と日曜日、都内5区(港区・渋谷区・新宿区・中央区・千代田区)の迎車料金を無料にしました。これらはタクシー会社が負担するわけではなく、シェア拡大を促すため、タクシー会社が費用を負担して初乗り料金を迎車料金を補填しているわけですが、事業者側としても、このような施策により利用回数が増え、双方にとって願ったりかなったりというわけです。

更にDiiモビリティジャパンは、事業者に対する説明会で、システム・機器使用料及びデータ通信料を無料、配車手数料も格安であることをアピールし、純国産と言われ、利用登録台数が6万台を超えるといわれているJAPAN TAXIのシェアを少しでも奪うために、赤字覚悟のこのような攻勢に出たわけですが、JAPAN TAXIも黙って見ていられないということで、シェア争いは加熱している状況です。

現時点では新規参入のために事業者側にとって良い条件が提示されていますが、今後力関係が逆転すれば手数料や使用料が上がり、我々にしわ寄せがくる状況が見えています。このような状況が続けば、公共交通機関としての運賃そのものが維持できなくなる恐れがあるうえ、各事業者が個別のアプリを導入することで分断され、タクシー業界として一つにまとめることが難しくなってくるでしょう。

もう一つは先月発表されたソフトバンクとトヨタが共同出資で設立したMOT Technology(モネテック)の動きです。これは自動運転車の開発と販売を目的としており、1万台数千円といわれるこれらの車両の販売先は、先程お話ししたUberやDiiなどのライドシェアを進めていこうとする事業者なのです。更には国家戦略特区制度を使い、過疎地などに自動運転車のpallette(イーパレット)を導入する話がすでに進んでいます。トヨタの社長自ら「タクシー業界とは競合しない」と発表していますが、この先どうなるかはわかりません。

これまでも、日本のグランドデザインを描いている未来投資会議や片山さつき大臣のスーパーシティ構想など、ライドシェアや自動運転に絡んだ構想がいくつも打ち出されていることは、情勢報告の中でお伝えしてきました。国交省は「新経済連盟のライドシェア新法は対応できません」と回答したようですが、前述の巨大企業は法律を変えようかという程の力を持っていますので安心はできません。

このような政策が絡んだ動きにどう取り組んでいくかといえれば、やはりイデオロギーの壁を越えて、全国の旅客自動車産業の8産別の労働組合が共同で取り組んでいる白タク合法化反対運動であり、今年も5月23日に国交省・厚労省・経産省・観光庁に対し、要請行動を行いました。今後もこうした8産別の集まりは、全中労としても重要であると考え、継続していく必要があると考えています。一方で2年前の決起集会のようなものを続けていくかどうかは別問題です。白タクを議論していた海外のライドシェア事業者は、日本の法律や業界団体労働組合の反対を受けて、いったん白タクでの参入をあきらめ、タクシー事業者と提携して事業に参入してきました。「白タク反対」というだけでは話がズレてしまい、世間にも響いていかなければいけないかと思えます。

またアプリに対し労組として反対したところで、利用者利便を考えればアプリが選ばれるのは必然であり、白タク合法化反対とは別次元の話で、今更でと違う感覚で取り組まなければならないと考えています。自動運転も

かり、そもそもテクノロジー分野の問題であり、我々が反対しようがしまいが勝手に進んでいくものです。ソフトバンクの社長が「世界で年間120万人が交通事故で亡くなっている。それを無くすために自動運転技術の開発にお金も時間も使っている。」と堂々と言えば、当然のように国もその背中を押し、開発に便宜を図るわけです。

このように8産別の集まりは、労働者の結束のために必要だと考える反面、情勢の変化については慎重かつ柔軟に考え、取り組んでいかなければなりません。

一方で、「働き方改革」の中で謳われた「有給休暇の取得義務」60時間以上の時間外労働の賃金5割増しなどは、労働組合としては本来歓迎すべきものでしょうが、我々のように歩合給中心の業界にとっては、時間短縮イコール賃金の減少につながるということで、生産性を上げるというも限界があるため、業界というよりは各社各労組がすぐにも取り組むべき問題だと考えています。

どのアプリを選択して提携するかについては先見の明も問われますが、目の利益だけにとらわれては、巨大資本のアプリ事業者に食いつくされ、職場を維持していけるかどうかかわらない状況になりかねません。更にMaas(マース/モビリティ・アズ・ア・サービス)という、鉄道バス・タクシーだけでなく、カーシェアやシェアサイクルといった交通モードとそれに付随したすべてのサービスをシームレスに利用者に提供する、いわゆる家から目的地までのすべての移動

を一つのアプリで賄おうとする動きがあり、これが現実化してきています。しかしながら、アプリを導入したとしても、乗車回数が増えるかどうかは乗務社員にかかっているのです。これまでとは違い、同業他社との比較も容易になりますので、乗務社員の質が落ちればアプリの評価・会社の評判が低下する、そういう厳しい状況になります。

自動運転に関しても同じことで、単純な移動については賄っていく時代になるかもしれませんが、そういう中でも一人にしかできないサービスを提供する意味では、今のタクシー・ハイヤー・バスは間違いなく生き残っていくだろうと思います。当然淘汰はされるでしょうから、選ばれる会社になるためには、労働者一人ひとりが自覚を持ち、組合としても考え、方向性を共有していく必要があると考えています。

本日お話しした内容は、ほとんどタクシーに関わる問題だととらえた方が多いと思いますが、これらは旅客自動車産業全体に影響を及ぼす問題であり、産業の大改革ともいえます。自動運転技術の進歩と巨大資本の参入は受け入れざるを得ない状況にあり、労働組合としても既得権だけを守って闘うことだけが正しい道ではありません。

今後は、特に我々のようなプロフェッショナルの高い技術、接客をどのように活かしていくかということが、新しい時代の労働組合の力であり、存在意義ではないかと考えています。

全中労に集う各単組は、それぞれの地域のブランド企業の労働組合です。地域事情の違いはありますが、公共交通機関としての社会的責任を自覚しながら、これからの時代を見据えて、白タクライドシェアや自動運転にはできない、プロの技術やホスピタリティのある接客、高付加価値のサービスに磨きをかけていくことが、労働組合としても必要な運動であり、重要だと考えています。何かに反対するだけでなく、使用者や社会に要求するだけでなく、労働組合として意思を統一し、自発的に運動を進めていくことが求められていると思います。

困難な時代を迎えていることは間違いないですが、一人ひとりが「真のプロ」であれば何も恐れることはないのだということを申し上げて、あいさつに代えさせていただきます。



2019年度 全中労役員

政策・制度要求課題

- 公共交通輸送機関としてふさわしい公的助成措置の確立
- 道路交通法・道路運送法・その他交通・労働行政諸法規の徹底と指導
- ハイ・タク産業の秩序を乱す白タクの排除と、NPO(特定非営利活動法人)の有償輸送の不法営業取締り
- 大都市圏における渋滞緩和措置の推進
- 営業車両の車検については初年度3年間、以降1年毎に設定
- 安全対策と交通環境改善対策

交通機関の一員としてハイ・タク・バスに課せられた安全輸送の責務は、我々の労働条件はもとより道路交通の整備と密接な関係を持っている。安全輸送対策として次の具体的内容を各方面に要求する。

 - ①道路の拡張と整備及び交通標識の改善
 - ②交通環境に見合った合理的な速度制限
 - ③利用者の安全と利便、走行効率の面からタクシー乗り場の適切な設置と充実
 - ④公共輸送機関であるタクシー乗車時におけるバスレーンの併用使用
 - ⑤タクシー乗務員の休憩所、食堂、トイレの設置拡充
 - ⑥観光バスの観光地における駐車場の設置拡充
 - ⑦観光バス利用客のための高速道路サービスエリアにおける路線バス停留所設置拡充
- 自動車税の減免措置の確立
- 市場の変化や需給調整に伴うハイ・タク産業の遊休資産の有効活用
- 安全・信頼を阻害する恐れのある「ライドシェア」の導入に反対する。

2019年度 全中労役員

役職名	氏名	出身単組名・役職名
議長	北里 裕治	国際労働組合中央執行委員長
副議長	小島 靖雄	全中労東京・東京ハイタク観光バス労働協議会議長 西武ハイヤー労働組合執行委員長
副議長	後藤 寿亜樹	全中労北海道・金星自動車労働組合連合会議長 北海道中央タクシー労働組合執行委員長
副議長	杉本 英徳	全中労東海・東海中立労組協議会議長 名古屋近鉄タクシー労働組合執行委員長
事務局長	石田 欽久	国際労働組合中央書記長
幹事	井上 剛	北見金星自動車労働組合執行委員長
幹事	吉田 克美	都タクシー親睦会従業員代表
幹事	平瀬 昇	中央交通労働組合執行委員長
幹事	三枝 宏	東和交通労働組合執行委員長
幹事	中山 弥寿	西武ハイヤー労働組合副執行委員長
幹事	行木 幸男	西武ハイヤー労働組合書記長
幹事	田北 章	国際労働組合中央副執行委員長
会計	中村 幸一	国際労働組合中央執行委員
会計監査	刈屋 孝徳	西武ハイヤー労働組合書記次長
会計監査	友永 昭典	国際労働組合中央執行委員
事務局	神谷 浩	国際労働組合中央常任執行委員

支部長
執行員に
よる

我が支部紹介

他支部の事情は、意外と知らないことがあるものです。支部運営の参考やヒントになれば幸いです。

- ① 支部の紹介(支部の特徴や個性など)
- ② 日頃の組合活動について
- ③ 2019年の抱負
- ④ その他

世田谷支部

①世田谷支部は、統合されて4年目を迎えました。平均年齢41歳の9名で構成されており、半数は役員経験の少ないフレッシュな支部です。どんな些細なことでも話し合える、そして経験不足をもともしない

バイタリティー溢れる発言力を持っている人材が揃っています。

SNSで情報を共有し、組合活動に役立っています。

②組織の団結力を高めるため、文体活動を中心に日々活動しています。特にクラブ活動は活発で、役員半数は複数のクラブに所属しており、本部大会に積極的に参加しています。

組合員の方たちには、アットホームな雰囲気を楽しめるようにコミュニケーションを取り、働きやすい職場を作るため常に事務折衝をおこなっています。

③組合活動に関心を持ってもらえるように日々オolg活動を行って、できるだけ多くの組合員の方々に参加してもらえるような文体活動の企画を考え、実践したいと考えています。

よろしくお願いたします。

支部長執行員 刑部 俊也



羽田支部

①2013年10月、旧大井・旧羽田・旧大森・旧五反田の4つの支部が統合し、新生羽田支部としてスタートし、早いもので丸5年経過しました。発足当初は、組合員571名、労供組合員86名、計657名でしたが、2018年11月21日現在では、組合員662名、労供組合員129名、計791名の構成となっており、役員11名で運営に当たっています。うち3名は2014年以降新卒入社で、日々組合員の為に、汗をかいています。役員全員で力を合わせ、一つ一つ問題を解決するため努力しています。

②羽田支部には、13のクラブがあります。うち2クラブはここ1年のうちに新設されたもので、延べ234名の部員がいます。その活動を通して、本部行事への積極的な参加や支部会への出席を促しています。本部行事に関しては、参加費の補助をすることにより、組合員の負担軽減に努め、一人でも多くの方に参加してもらおうと、役員で声掛けを行っています。

毎月一回、労使会議を開催し、職場で起きている諸問題等について、会社と話し合いの場を設けています。日頃から組合員とコミュニケーションを図ることで、組合員の不安や不満を吸い上げ、問題解決に努めています。また、労働安全衛生委員会を、産業医と看護師を交え、毎月一回開催しています。健康診断受診やインフルエンザ予防接種

の啓蒙や風呂場、洗面所等の施設点検を行い、不具合の改善を申し入れ、健康面、衛生面でのサポート活動も行っていきます。

③現体制での最後の年となりますが、2018年同様、少しでも働きやすい環境にするべく、役員一同一丸となって、どんな些細なことにも耳を傾け、支部運営に当たっていきたくと考えています。また、文体活動を通じて、組織としての団結力をさらに強めていきたいと思います。夏季レクでは、役員で様々な意見・アイデア等を出し合い、組合員の方たちに喜んでもらえるような企画にしたいとも考えています。

支部長執行員 米村 尚之



三鷹支部

①三鷹支部は、役員8名(うち中央委員兼職場委員3名)、会計監査2名の構成です。

三鷹では、ここ数年で沢山の方が配属、組合加入され、今では350名を超える支部となりました。支部

設立から、まだ数年を経過したところなので、年功を重ねた大ベテランと呼ばれるような方は少ないのですが、入社10年前後の方たちを中心に、加入されて間もない方たちとも支部の文体活動などを通して交流を深めています。

②常に心掛けているのが、組合員さんとのコミュニケーションを絶やさないことです。

支部の事務所で待っているのではなく、自分から営業所内を回り、すれ違うときの声掛けは特に大切にしています。三鷹支部のクラブや同好会の様々な活動に対しては、支部役員も各自参加して楽しみながら、折に触れ、より多くの方に組合活動への理解を伝えていきます。

③2019年は任期の折り返しとなります。決して無理をすることなく、支部役員一人ひとりが、出来る事をしっかりとやることを目標に組合業務に臨ん

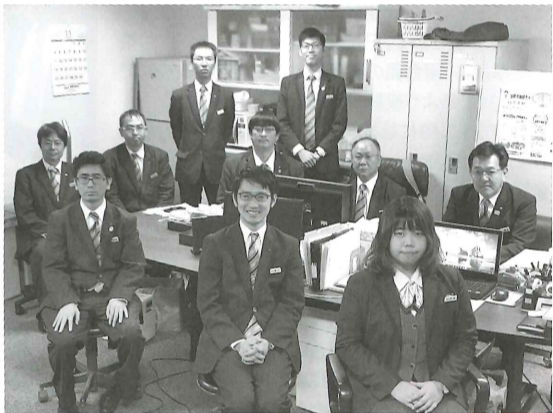
でいけたらと思います。

三鷹営業所は大型営業所となり、大きな事案や小さな事案が日々起こっています。

それぞれに対応していくために、会社との連携をより一層深めていきたいと思います。

そして皆が働きやすい良い職場環境を目指していきます。

支部長執行員 押久保 茂夫



板橋支部

①板橋支部は、組合員544名、労供組合員144名、総勢688名のタクシー部門では最大級の支部です。人数が多く、なかなか運営等では難しい面も有りますが、笑顔の多い支部だと思います。

役員は、なにより調和を好み、人に対しての思いやりにあふれた支部です。

②支部役員は、11名です。3階の組合事務所は基本的に日中開放しており、支部長を中心に明番の役員が各種手続きや、相談を受け付けています。

また、お茶を飲んだりしながらつづるテーブルもあり、明番や乗務前の組合員さんが、いろいろ雑談に興じる中で、気になる出来事を話したり、様々な企画を立てたりしています。

支部サークルには延べ人数で200名以上が参加しており、毎月何かしらの行事がある状況です。

③ここ数年、増車の影響もあり、新卒乗務社員を含めた新組合員が増加しています。

こうした新組合員の行事参加を促し融和を図

ていきたいと思います。

④女性社員も増加しており、育児休業など必要とされる知識の調査や施設面の充実を営業所と共に検討していきます。

支部長執行員 山岸 啓



品川支部

①品川支部は、2013年の統合以来5年3期目の組合員数555名(内女性乗務社員10名)の支部です。支部役員は昨年の選挙で新たに2名を加え10名で構成されています。組合員数555名中、業務委託者(白ナンバー乗車)が半数以上占めています。業務委託者は支部に来る機会が少ないことから、顔と名前を把握するだけでも大変ですが、日々オolg活動を行い、更に品川通信の発行、支部のブログを活用して情報の伝達を行っています。

②日頃の組合活動については、支部役員を日勤勤務と、6車勤務(泊まり勤務)のシフトで対応し、組合員の利便性を高めています。更に年3回「品川通信」の発行、掲示板やブログの活用をし、役員個々のオolg活動も積極的に行っています。又、文体活動の一環として、各クラブの支援、夏季レクリエーション、送別新年会を通じ組合員同士のコミュニケーションの向上を図っています。

③一昨年の労務制度改革スタート以来新たに入社する方もいる中、残業抑制により賃金等の問題で去っていく仲間もあります。このような状況であるからこそ、組合としての発信力が不可欠であり、組合活動に関心を深めてもらう為に、オolgや掲示

板の活用を積極的に行っていきたいと思っています。また、支部会の出席率を向上させるため、委託者に案内はがきの郵送、スマホにてメール発信をしています。新組合員に対しては、役員一人一人が丁寧に声掛けを行い、一人でも多くの方に支部会に出席してもらいたいと思っております。最後に国際労働組合の「ともに歩もう新たな時代へ」に向けて2019生活総合改善に対して万全な体制で取り組んでいける支部にしたいと思っています。

支部長執行員 中川 篤



落合分会

①2011年、IBANZENグループからkmグループになり同時に落合親睦会から国際労働組合 落合分会となり9年目に入ろうとしております。

分会長以下、役員一同は組合員一人ひとりに寄り添うように親身になり問題解決を図ることを常に心掛けております。近年は若手の組合員も増え、また、今年度は新卒者5名を含む約30名の新組合員が加入し更に活気のある雰囲気になっております。

②分会長以下、乗務中または明け番、公休を利用し組合活動を行っております。

近年は新入社員も以前のペースより早く、多く入社してくるため、速やかに接触し組合加入につながるよう創意工夫しております。

また、会社側とも連携を図り組合員一人ひとりの問題を速やかに把握し、きめ細やかな問題解決を行うように心掛けております。

同時に組合本部と問題を共有することを目的とするため、月に一度の本部訪問を実行しております。

③特に新組合員の意見を多く取り入れ、速やかな問題解決を図り、さらに活気のある組合運営をする事ができるように努力いたします。

また、分会主催・本部主催のイベントなどに多くの組合員が参加していただけるよう創意工夫をいたします。

分会長 田所 公博



シティバス分会

①シティバス分会は現在、27名の分会です。お台場レインボーバス、契約シャトル業務等に携わっております。

場所は東雲営業所内に構えております。

②観光支部の吉本支部長執行員のもと、時間管理のチェック等、組織の運営が確実になされているか、組合員が安心して乗務できる環境にあるか、チェックを行っています。

③営業所や事業が存続していく為に何が出来るかを常に考えながら、活動していきます。

分会長 宮本 光一郎



吉祥寺支部

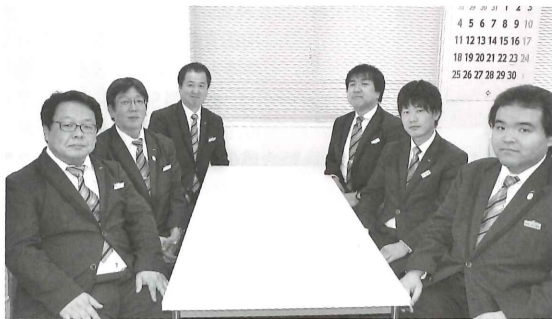
①若者の住みたい街として常に上位ランキングされている吉祥寺にある当支部は、組合員196名のタクシー部門の単独支部としては小規模な支部となりますが、小規模ならではの穏やかなまとまりのある支部となっています。2018年は、期の途中で役員が欠員となつてしまい6月に補充選挙を行い、新体制となりました。役員は平均年齢が40歳と若くならず、支部研修や毎月の定例ミーティングを開催して知識を身に付け現状を把握して組合活動に全力で取り組んでいます。支部には、囲碁将棋部・ゴルフ部・テニス部・ボウリング部・野球部があり、各クラブ部員の合計は74名となり活発に活動を行っています。

②組合活動の最重要事項として組合員への正確な情報伝達を第一に置き、組合全体の項目は職場委員会で情報を把握し、支部の項目は職場委員会や定例ミーティングで確認しています。情報は支部会で報告すると共に掲示板を有効利用して情報発信を行っています。また、日頃から組合員へ声掛けを通して支部で起こっている問題や課題を把握して解決に取り組んでいます。組合員個人の項目は各専門部長を中心に情報発信とフォローを行っています。

ます。支部組合活動として、春にはお花見を開催しています。各クラブは定例の練習や試合を活発に行い本部文体行事への参加も積極的に行っています。

③2019年は、さらなる組合活動強化のために役員研修を行い役員スキルアップに取り組んでいきます。組合員は各シフトでのまとまりはあるものの、他のシフト間での交流が少なく、支部全体で交流がもてる行事を開催したいと思つています。そして組合員の組合への関心を高め、支部会の参加者増員と本部文体行事参加者増員に向けて取り組んでいきたいと思つています。

支部長執行員 藤々木 政彦



台東支部

①上野の台の東にある台東(命名)。台東支部は11月20日現在、組合員635名、労供組合員93名の支部です。2013年9月の台東支部発足から5年が経ちますが、近年ではキャリア・新卒入社組合員の仲間も増えて、女性の組合員も32名が活躍されています。

②笑顔と温かい心遣いを持ち、より多くの方に挨拶掛けをし、気軽に相談していただける環境に努め、職場委員会や支部会などでも忌憚なく意見なども発言していただき、汲み取り回答する努力をしています。慶弔関係においても迅速に報告され、適切に対応するよう努めています。本部行事や支部の行事、クラブ活動などの参加の声掛けも積極的に行動しています。

③国際労働組合の運動方針、アクションプランを礎に、日々の活動を推進していく所存です。「組合が

元気を喪失していないか」「10年1日的なマンネリ活動をしていないか」「ケジメのある姿勢を堅持しているか」など、私たち自体に内在する弱さ・強さを客観的に観察・分析し、自覚することで意識の向上を図り、日頃の活動及び起こりうる諸課題に各自の役割を遂行し、協調して活発な組合活動に取り組んで行いたいと考えています。組合員の日々の健康、そして業務の安全を願い、2019年、さらなる良い年であることを。

支部長執行員 谷内 正美



東雲支部

①2009年に関東運輸局から事業許可取り消しという行政処分があり、浅草営業所ごと消滅という出来事がありました。その後、東雲センターに労働組合を信じて残ってくれた、浅草営業所の人々を4社に分けて働いてもらうことになったのが現在の東雲営業所です。その後、2011年12月に浅草支部から東雲支部に支部名が変更となり7年が経ちました。東雲支部は「法令遵守」の大切さを次の世代に継承していく事が使命であると考え活動の指針として特に力を入れています。

②営業所事務所と同フロアという所在の良さを活かし、営業所との連携を密にし、組合員の皆さんが気軽に足を運べる環境づくりに取り組んでいます。その一環として、日用品の販売、コーヒー・お茶等を準備し、組合員の皆さんと接する機会を少しでも多く持つよう役員一同心がけております。

③近年、新卒・キャリア入社で多くの仲間が加入

し、同時に女性乗務社員も増えています。中でも、30歳未満の支部組合員は87名となり、こうした若い組合員が支部会や各文化体育行事に気軽に参加してもらえるように、新しい企画や若い人とのコミュニケーションを積極的に図り、また、日々の業務として組合活動の一つ一つ丁寧に行い、組合員の皆さんに今まで以上に信頼して頂けるような支部を目指し、全力で活動していきます。

支部長執行員 金久保 章浩



丸の内支部

①我々丸の内支部は、ハイパー営業所ということもあり勤務シフトの相違により支部役員同士が毎日顔を合わせられる訳ではありませんが、その分集まった機会に各々の情報共有や意見交換を積極的にするようにしています。時には冗談で笑い声が支部事務所の外まで聞こえる事もありますが、組合員の皆様に気軽に、親しみやすい雰囲気づくりに心掛けております。

②各専門部長を残りの支部役員がフォローし、円滑かつ正確に作業できるように努めております。

③皆様、新年明けましておめでとうございます。私が支部長執行員に就いて早くも1年が過ぎましたが、スタート時に感じられた新たな風による「大変革期」を前に、現状把握と日々の業務に追われ十分と言って良いほどの成果が得られな

かったと自覚しております。ですが、本部または支部主催のイベントへの参加者の増員は国際労働組合のパワーの源となる事を実感しており、今年からはさらに企画を増やす予定でございます。さらに、支部・支店間で現場レベルでの働き方改革を検討するべく協議を昨夏より行っております。一朝一夕にできるものばかりではないですが、支部・支店間での問題共有による意思の統一が図れるようになってきたのは、意義のある一歩前進ではないかと自覚しております。この一歩を、着実に歩みを進め、2019年の抱負とさせていただきます。

支部長執行員 小寺 一由



足立分会

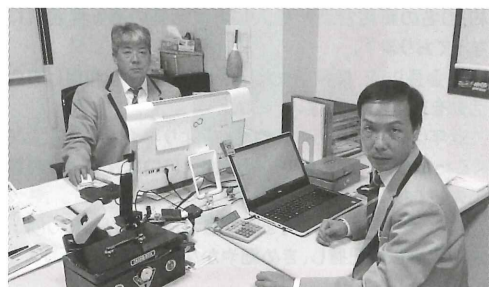
①足立分会は2016年6月にケイエム観光バス(株)と旧ニュー東京観光自動車(株)の合併に伴い国際労働組合の本部直轄として発足しました。国際労働組合の一員となり早くも2年半の時が経ちました。分会長は入社20年目の川越慶治(50歳)と会計に入社15年目の野原智(42歳)の2名体制で日々活動しております。

②ドライバー不足、時間管理等の問題もあり私も野原会計も普段は乗務しております。なかなか事務所まで顔を合わす機会が少ないので現場で起こっている問題等電話やメールで連絡を取り合い逐一報告するようにしています。組合員さんからの要望に対しては極力耳を傾けておりますが、現実にはなかなか叶えられない要望が多いのが悩みの種です。バス部門は大森、足立、東雲、京都、大阪と営業所がありますが、日頃から一緒に仕事をする機会が多い

大森営業所(観光支部吉本支部長執行員)と連絡を密にとり情報を共有し、また本部からも指導を仰ぎながら日々の活動をおこなっております。

③役員が2人しかおられませんのでまずは自分たちの健康管理に留意して一年間活動していきたいと思つています。永遠のテーマですが、組合員の皆様が明るく元気よく安心して働ける職場環境作りを役員2人だけですが力を合わせ、知恵を絞って汗をかき、最後は笑って過ごせるように一年間努力していきたいと思つています。組合員約60人と小さい足立分会ですが、よろしくお願ひいたします。

分会長 川越 慶治



観光支部

①私たち観光支部は発足53年の歴史となります。発足当初に比べると組合員数や車両台数も1/3になった小さな支部です。支部名の観光と言える仕事も少なくなり、観光バスの華々しい時代とは様変わりしてきました。組合員も人手不足や中堅層の退職で勤続年数に差がありますが、その垣根を超えて賑やかに今日の出来事や、明日の仕事の確認をしている姿を見ると、微笑ましく家族の様に見えてきます。コンプライアンス最優先も各々が自覚してくれて、時代の流れを汲み取り良い環境になってきたと自負しています。

②明るく・元気に・はきはぎと常に組合員さんとは向き合うようにし、特に加入間もない組合員さんにはこちらから声を掛け、仕事内容は様々ですが、帰庫車両が多い時間にはなるべく点呼場付近にて労をねぎらう様にしています。

③支部の組合員が少なくなり何をすることも仕事の

関係で人集めが大変ですが、本部の文体活動や夏季レク等組合員やそのご家族が楽しみにしている行事には、積極的に声を掛けていきます。

④観光支部事務所は、昨年職場環境改善に伴いリノベーションした新社屋2階に引っ越しました。

⑤近くにお越しの際は、是非お尋ね下さい。お待ちしております。

支部長執行員 吉本 るみ



京都支部

①新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。私達の京都支部は、国際労働組合の中で唯一関西に拠点を置く支部でございます。組合員のほとんどが観光都市京都を中心に観光バスに乗って日々頑張っております。

②政府による働き方改革が進められ、私たちバス業界は大変厳しい労働環境へと変わりゆく中で、今後をどの様に乗り越えていくのか、私たちが置かれた現状をいかにして組合員皆さまに理解してもらえるかを考えながら、役員も組合員との普段の会話の中で意見交換を積極的に交わし、現場での問題を考えます。また会社との労使懇談会などを通じ、会社・指導部・組合役員がより会社の現状や組合活動、バス業界や私たちを取り巻く状況を理解し、互いに協力しながら今後の改善の道を模索

し、安心して、安定した、安息の場所を創る為、一丸となり頑張っております。

③新体制となり、手探りの中で改善を行ってきた2018年を基に、更なる改善、世の中の流れに負けぬ改革、働く上で皆がモチベーションの上げられる、そして5年先・10年先を見据えた外的要因に負けぬ調査や、従来の活動はもとより戦略的かつ計画的な活動や、その為の充分な理解を得る為のオルグ活動等を積極的に行っていきたくと思つています。

④先の見えない大変革期に突入しておりますが、今までやって来た事を信じ、時代の流れに負けぬ、時代の流れすら創れるような、希望の持てる、信頼のおける組合活動を皆さんと一緒に力を合わせていきたいと考えておりますので、更なるご協力をよろしくお願い致します。

支部長執行員 河合 徹



内勤支部

①内勤部門は2018年12月7日の発足支部会を経て、新たに内勤支部としてスタートしました。2018年11月28日に内勤支部役員が選挙により全員信任されましたので、新役員の写真に掲載いたします。なお、詳細は次号でご紹介いたします。

支部長執行員 下里 真規

新役員名簿

支部長執行員	下里 真規(写真:下段中央)
副支部長	石原 健一朗(写真:下段左)
財務部長	江利川 雄大(写真:下段右)
中央委員兼職場委員	恩田 裕介(写真:上段左端)
中央委員兼職場委員	金子 友樹(写真:上段右端)
中央委員兼職場委員	巻田 翔(写真:上段中央右)
職場委員	熊倉 友紀(写真:上段中央左)
会計監査	遠間 彩加
会計監査	霧見 幸孔



新春



新年あけまして
おめでとうございます。
皆様のご家庭では、
気持ちも新たに
新年をお迎えのことと思います。
報道部では、新年特集号として、
今年の干支「亥年」生まれの
組合員の皆様より、ご家族との
暖かいふれあいエピソードを、
寄稿していただきました。

まだまだこれからです。

新年明けましておめでとうございます。
私は、平成二五年六月に入社致しました。入社当時ある先輩にハイヤーの仕事は、一〇年やつて、初めて一人前と認められる、と言われてました。では、まずは半分の五年を節目に頑張ろうと決意し、その五年を経とうとしています。入社後、しばらくして八車ダイヤに入り（現在は六車）、道の知識や経験がおぼつかない上に早朝、深夜の仕事の為に支店に泊まる生活に慣れるまで正直、疲れ果てた時期もありました。そういった不規則な生活で一週間の内の半分以上、自宅を空けているにもかかわらず、家庭を守り、気遣ってくれる妻には感謝しています。ですから、明け番や公休の時には極力、家庭の事をする

ように心がけております。そして、専門学校生、高校生となった娘、息子は、今でこそ友達付き合いが増え、親と行動を共にすることが少ないですが、このような状況でも、理解してくれているのか文句もありません。ほとんど母子家庭状態で親らしい事ができていないので申し訳ない気持ちです。

話が入社時に戻りますが、入社直前に腰痛を発症して自宅近所の鍼灸院へ通い、完治後に腰痛予防の為、筋トレを始めました。それ以来、明け番や公休日運動不足解消の為に継続しています。また不定期ですが、近所の川沿いをランニングしています。

また、入社翌年から妻と一緒にできる趣味という理由で登山を始めました。毎年、春から秋にかけて、月に二〜三回程度、車で関東近郊の山へ出かけております。当初は、ハイキング程度で良いや、と考えておりましたが、段々と難易度を上げたい、ソロで行きたい、テント泊してみたいと欲がでてきました。仕事の時は、東京を中心にビルや人の多い中で過ごしているの、自然の中、人影の少ない静かな所で汗を流すのは、とても気持ちが良いです。そして、頂上へたどり着いた時の達成感は何にも変えられません。

次に最近になって仕事をする姿勢、心がけとして強く意識している事を述べます。

「余裕」です。余裕とは、車間（前後左右）の余裕、時間の余裕、知識（道）の余裕、睡眠の余裕、健康（体力）の余裕、心の余裕です。他にもあるかもしれませんが。

この仕事では当たり前の事です。丸の内支部 川合 滋



夫と共に……

京都支部 谷村さんご一家

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
夫との人生は、もう 40年近くになりました。波瀾万丈の人生といっても過言ではないと思っています。

出会い・結婚・出産・転職・引越・孫の誕生等々、平凡な人生を歩んできたように見られがちですが、一家の大黒柱が「転職」することは、家族にとって大きな影響でした。

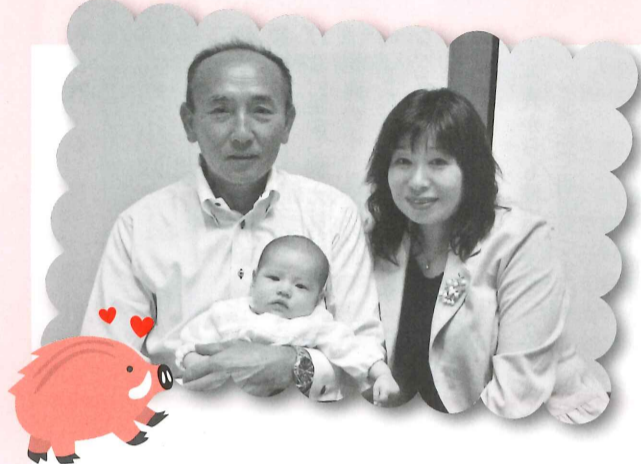
まず、最初の転職は長男が1歳になったばかりの頃でした。転職先は特殊性があるので、最後まで反対したのは私でした。それでも最終試験まで合格し、新しい仕事に就く夫を応援するしかありませんでした。

転職後に第二子・第三子と3人の子どもに恵まれましたが、子育ての協力も、行事に参加したことがほとんどない父親だったので、「お父さんがいるのに母子家庭と虐められた。運動会や発表会に来てほしかった。」などと、母親になった娘が子どもの頃のさみしかった思い出を話すと、今でも苦笑いで誤魔

化しています。
3人の子どもたちが成人し、結婚・孫の誕生で家族が増え、昔の子育てを取り戻すかのように孫育てに協力したり、孫と出かけていた夫とともに、定年退職までこのまま落ち着いた夫婦の生活が送れると思っていました。

ところが5年前のある日、「バスの運転手になる。最後の転職やし。」と言い出しました。というより、決りてからの報告でした。大型バスの運転手になりたいというのがいつの頃からか、夢だったようです。

おかげさまで、ケイエム観光バス（株）に「縁をいただき今日に至っております。」
研修期間は、素敵な指導者の下で、「厳しいのは当たり前。」と命を預かる仕事として、一人前のドライバーになりました。との思いで頑張っていた姿を思い出します。
月日は早く、5年目に突入しています。早朝より夜遅くまで家には居ないので、年齢と共に多少辛そ



うですが、職場の諸先輩方をはじめ、同僚にも恵まれ、好きな仕事で充実した人生に「感謝」しています。
職場では色々な経験や体験をしている様子で、ドライバーさん同士で、初めての観光地や難所の情報交換とアドバイス。ガイドさんの観光案内では、歴史や名所にまつわる話を聞くことが、ドライバーの醍醐味の一つだと、家でもよく教えてくれます。

更には、お客様の「命」と、「二期一会」を大切に、無事故無違反で旅を楽しんでいただくことを、日々の目標にしているそうです。願わくば、そんな夫の現職の間に、観光客として4人の孫と旅行をするのが夢です。

最後に、夫の転職も含め色々有った人生ですが、転職も人生の良き選択とし、還暦を迎える夫とともに、今後も歩んで行きます。

京都支部 谷村 勝三
ひさみ

組合と私

羽田支部 金田さんご一家

皆様日々のお仕事大変お疲れ様です。
私は平成20年の春に転職し、今年で10年を迎えました。当初は得意の英語を生かして外国人向けのハイヤー乗務員を希望していましたが、タクシーでの研修がおもひのほかしく、自分が無理を言ってもタクシ乗務員として採用して頂き現在に至っております。

タクシの仕事は1出番が長く大変な面もありますが、翌日が明け番となり自分の時間が持て、家族共々大変充実しております。

国際労働組合の皆様にも日頃から大変お世話になっており、年に数度のイベントやレクレーションには可能な限り参加させて頂いております。私の家族も、友人知人を誘って毎回楽しみに参加しております。

組合役員の方々の日頃の努力には大変感謝しております。欲を言うのであれば、組合の会合や選挙時、イベント以外の活動にも組合員がもっと興味を持って参加するようになつてもらいたいと思います。私自身は可能な限り、協力・参加をさせて頂こうと思っております。

最後に国際労働組合と組合員のご発展とご健康を心よりお祈り申し上げます。
羽田支部 金田 正雄



還暦を迎えて

東雲支部 小阪さんご一家

新年明けましておめでとうございませう。
皆様も穏やかなお正月をお迎えの事と存じます。今年で私も無事還暦を迎えることができうれしく思います。国際自動車に入社させて頂き、早いもので十年が経ちました。

お世話になるきっかけは、前職のアパレル業界に風雲が立ち込め思うようにいかなかった頃、先にタクシー業界に入られていた先輩に相談し、家族の勧めもあり、業界最大手の国際自動車に入社させて頂いた事がつい最近のように思えます。

この十年の間に、仕事仲間、ゴルフ仲間、飲み仲間と本当に良い仲間と出逢え、楽しい時間を過ごせました事を皆様に感謝いたします。



には抵抗がありませんでした。が、やはり初めはお客様を乗せての運転はとても不安でしたが、諸先輩方にご指導頂き不安も徐々に解消していきました。売り上げがなかなか上がらず苦勞のしつばなでしたが、三年前にその他ハイヤーのメンバーに参加させて頂き、タクシーでは行けない場所、例えば羽田空港の滑走路の中、皇居の地下駐車場、また普段到底お目にかかれない方々にお会いする事も出来、本当に貴重な体験をさせて頂きました。

これからも健康に気をつけ、安全運転で頑張つてまいります。

あつというまの十年間でしたが、今まで一緒に頑張つてくれた家族、中でも結婚以来ずっと苦勞かけた妻にはとても感謝しています。

最後に、皆様にとつて良き一年で有りますように、国際自動車の全ての皆様のご健康とご多幸を、また国際労働組合の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

東雲支部 小阪 文大

我が家の恒例行事

品川支部 布田さんご一家

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
主人は今年還暦を迎えますが、国際自動車には約20年間お世話になっております。勤務が朝早くからだったり、夜遅くまでだったり時間が不規則な上、穴をあけることのできない仕事であり、さらには大事なお客様

の命をお預かりするという、大変責任のある仕事であつて、普段からの体調管理がとても重要で、微力ながらも、家庭からできる限りのサポートをしていきたいと肝に銘じております。

家族は小学4年生の息子と3人家族ですが、KLUフェスティバルや品川支部の夏季レクには、毎年家族揃つて、さらには、息子の友だち家族も誘つて、大人数で参加させて頂いています。もはや、我が家の「年間恒例行事」の一つとなつていて(笑)、食卓の話

でも「次のレクはどこかな?」とみんなで予想するほど楽しみにしており、毎回、家族の楽しい思い出をたくさん作らせて頂いています。

ハイヤー乗務員という仕事柄、他の社員の方との関係が普段は見えてきませんが、こういった社内レクでは、組合の方や同僚の方の笑顔や雰囲気を感じる、とてもいい機会にもなつています。

あとは、是非、抽選会で息子に3DSをゲットさせてあげたいと、切に願っています(笑)。



今年還暦といえども、子どもはまだ小さいので、主人には身体に気をつけて、もう少し頑張つて勤めてもらいたいと思つております。

品川支部 布田 明志穂

21年が経ち

品川支部 小田さんご一家

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
私は、この2月で48歳になる年男です。21年前の平成9年12月、国際ハイヤーへ入社。研修の後、翌年4月に代々木営業所へ配属となりました。

日々、営業所で勤務を続けていく上で感じた事は、在籍する先輩乗務員の方々が、人情深く暖かい方が多い営業所だということ

です。
そんな雰囲気の良い中で、私も先輩乗務員の方から沢山の事を教わり、面倒をみて頂きました。
半年ほど経つた頃、業務委託の乗務員をさせて頂く事となり、お得意先での業務となりました。
クラブ活動や組合レクリエーション等、営業所に居ない分、出来る限り参加をして乗務員の方々とコミュニケーションを取らせていただきました。
楽しい活動が多かったですね。

家庭の都合で、業務の交代をしていただかなければならない場合が多々あり、お得意様と会社のご理解、乗務社員の方々の応援に助けられ、現在までやってこれました。
今回、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今年、我が家は全員が年男年女です。日々慌ただしく過ぎていくというのが現状ですが、今年一年、無事で過ごせられればと思つています。
本年も、国際自動車の皆様方のご健康と無事故を心よりお祈り申し上げます。

品川支部 小田 芳久

懐かしい小早川さん

羽田支部 遠藤さんご一家

2011年、東日本大震災のあった年の暮れに、私は、国際自動車株式会社に入社させて頂きました。

入社後、3階で囲碁を打つていた。入社後、3階で囲碁を打つていた人物を見て、少し感動を覚えました。今はお2人共退職されましたが、小早川淳さんとSさん。ある本によると、囲碁は3000年あるといは



4000年の歴史をもつといわれる世界最古のボードゲームだそうですね。「アブストラクト」とは、抽象的な、観念的な、という意味で、ちなみに、「駄目」という言葉は、囲碁から来たものです。
私は中学2年生の時に初めて囲碁を覚

えたので、覚えた時期は早い方ですが、中学卒業後から3年前の囲碁部入部まで40年近くも、囲碁らしい囲碁はほとんど打つておらず、実際に入社してよかつたことの1つとして、この囲碁との再会があります。小早川さんはその後も、熱心に私を囲碁部に勧誘してくれ、彼の笑顔にはだされる部分も感じ、2015年の年末に同部に入部しました。翌年10月には、囲碁部の慰安旅行として、石和温泉に行きました。前の職場である郵便局(約20年いました)では、1度も慰安旅行がなかった(約30年ぶり)にもかかわらず、初めて行ったような感慨を覚えました。

せつなく入部した囲碁部なので、もつと盛り立てたいと昨今の私は思っています。若い組合員さんたち、女性の方々、囲碁を始めてみませんか?世界的な名作「源氏物語」を著した紫式部、江戸幕府第13代将軍徳川家定公・正室の天璋院篤姫などは、女性の囲碁の名手だったと聞いています。
小早川さんとの対局で今でも懐かしいのは、彼が在籍していた4課の何かの会合があつたと思います。が、開始時刻が近づいているにもかかわらず、私の打った石にどう対応するかで長考する小早川さん。時刻が来てやむなくその場を離れ、会合終了後は、相手を囲碁部長に替えて、対局を再開した小早川さん。つくづく囲碁が好きで人物なんだな、と感動しました。

羽田支部 遠藤 孝



本部機構と役務分担

中央執行委員長	北里 裕治
中央副執行委員長	田北 章
中央書記長	石田 欽久

中央常任 執行委員	卯月 昭宏	中央執行 委員	中村 幸一	会計監査	小熊 由紀子
	神谷 浩		友永 昭典		三宅 秀範
	石崎 隆浩		谷本 浩一		木下 将司
			忍田 基明		
			齋藤 潤		

部門中央執行委員会	統括	担当	委員	部門合同執行会議
ハイヤー部門	田北 章	石崎 隆浩	谷本・忍田	中川・小寺
タクシー部門	石田 欽久	神谷 浩	田北・中村・友永・齋藤	山岸・金久保・米村・刑部・谷内・藤々木・山本・押久保(落合分会・田所)
バス部門	田北 章	卯月 昭宏	中村	吉本・河合(足立分会・川越)
内勤部門	田北 章	田北 章	谷本・忍田	下里

専門部・委員会	委員長	委員
組織部	卯月 昭宏	中村・友永・谷本・忍田・齋藤(支部長執行員 中川・金久保・吉本)
財務部	石崎 隆浩	中村・友永
情報宣伝部	谷本 浩一	友永・忍田・齋藤
調査部	忍田 基明	友永・谷本・齋藤
厚生部	中村 幸一	友永・谷本・忍田・齋藤
法規対策部	友永 昭典	谷本・齋藤
文化体育部	神谷 浩	中村・友永・谷本・忍田・齋藤(支部長執行員 刑部・山本)
報道部	齋藤 潤	友永・谷本・忍田
庶務部	石崎 隆浩	中村・友永
労働者供給事業部	中村 幸一	谷本・忍田
道交法対策委員会	友永 昭典	谷本・齋藤
労働金庫対策委員会	北里 裕治	田北・石田・卯月・神谷・石崎
中央苦情処理委員会	田北 章	石田・卯月・神谷・石崎
火災共済運営委員会	石田 欽久	卯月・神谷・石崎(調査 中村)
組合活動救援委員会	北里 裕治	田北・石田・卯月・神谷・石崎
福利共済委員会	中村 幸一	友永・谷本・忍田・齋藤
自助年金運営委員会	石田 欽久	卯月・神谷・石崎
査問委員会	田北 章	卯月・(中央委員会議長・同副議長・長谷川・星・大久保)
賃金専門委員会	石田 欽久	卯月・神谷・石崎
安全衛生委員会	石田 欽久	卯月・神谷・石崎
組織対策委員会	石田 欽久	卯月・タクシー部門中央執行委員会(タクシー部門合同執行会議)
表彰・懲戒委員会	北里 裕治	田北・石田

東京タクシーセンター	諮問委員	北里
kmグッドライフクラブ	理事	北里・田北・石田
中央労使会議		北里・田北・石田・卯月・神谷・石崎
健康保険組合	理事	北里・石田・卯月・石崎(検査 田北)
	議員	田北・神谷・中村・友永・谷本
全国中立労組政策推進会議	役員	北里・石田
	オルグ	田北・神谷
全中労東京ハイタク観光バス労組協議会	役員	田北・石田
	オルグ	卯月・石崎
フレンドリークラブ	事務局	中村(事務局顧問 石田)

KLUホームページがリニューアルしました!!



URLは変わらずにご利用いただけます。

<http://www.klu.jp/>



還暦を迎える。

羽田支部 津田さんご一家



新年あけましておめでとうございませす。昨年秋、以前勤めておりました会社の同期会で関西まで足を運ぶ機会がありました。その会社は百貨店です。私は昭和56年(1981年)に大阪府高槻市の百貨店に入社しました。当時その企業は、「不思議大好き」や「お

いしい生活」など時代を象徴する企業コピーを世に打ち出し、新卒者の人気企業ランキングでもトップクラス、私の店舗だけでも120名程が入社、今では考えられない人数を採用する企業でした。当時の百貨店はとても華やかでした。

あれから40年近い時間が経過し、今、百貨店はネットや新業態の脅威にさらされる厳しい時代を向かえております。実は、その店舗も関西の他社に買収され、今年の秋には店舗名も変わってしまうというところからメンバーで声を掛け合い、当時を偲ぼうという意図で集合することになりました。数十年前ぶりに会った同期も中には居りました。お祭り騒ぎのような一日が

あつという間に過ぎましたが髪の毛がなくなつた人、太りすぎて糖尿に苦しんでいる人、胃腸でやせ細ってしまった人、二日に一度は透析で病院通いしている人、既に亡くなつてしまった人も。妻もその店舗の同期入社の人でした。その後、3人のことにも恵まれ、昨年までに其々が羽ばたいて行きました。妻は昨年まで品川区にある介護施設に施設長として勤めておりましたが、秋に誕生日を迎え定年退職しました。過日、子供たちは妻の還暦を祝つて食事会を開いてくれ、楽しい夜を過ごしました。私は一昨年、35年務めた前述の会社を退社しました。これまでの仕事では忙しさに翻弄され、やりたいことも中途半端になつておりましたが、この仕事を始めてからは、今まではなかった時間を確保することができ、少しずつそれらに手を出すことができるようになってきました。私も今春、妻から半年遅れで還暦を迎えます。「還暦」とは「新たなスタート」という意味があるとのこと。妻も私も生まれ変わった気分、其々新しいスター



ラインに立っています。これからはどんな新しいことができるのか、どんな新しいことが待っているのか、とてもワクワクしています。

羽田支部 津田誠二

私の父はバスのドライバー

観光支部 小幡さんご一家



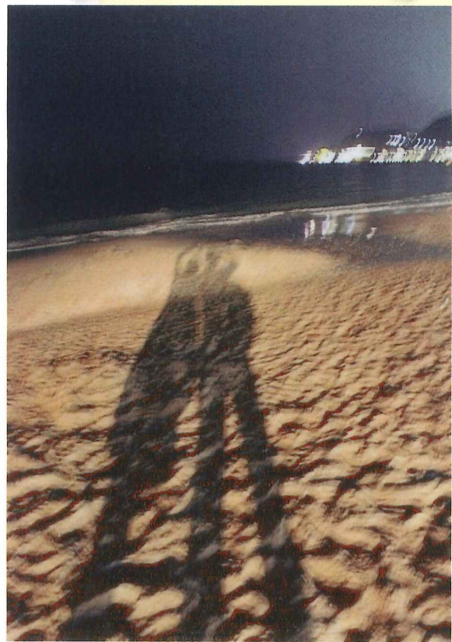
新年あけましておめでとうございませす。父は、私が物心ついた時から、バスのドライバーでした。ですから、私や兄の学校行事もほとんどが母だけの参加で、母子家庭なのか?と思うこともよくありました。

それでも、休日や時間があるときは、家族でご飯に行ったり、遊んだり、今思えば父なりに家族孝行をしてくれていたようです。大型バスのドライバーですから神経を使い辛い思いもあったでしょうが、好きな会社で好きな仕事をしている事が、父の誇りの様で、愚痴をこぼすことはほとんどありません。

5年前に母が他界した時には、ケイエム観光バスの方だけでなく、労働組合の方々が弔問にお見えになり、父に声を掛けお手伝いまでして下さり、父は本当に誇れる会社にいるのだと安心しました。特別なそんな父も今年60歳です。特別大きな病気はない様ですが、あまり無理をせず楽しいお仕事をしてもらい、休日には私や兄家族とのんびり過ごせたならと思つてます。ケイエム観光バスの皆さん、労働組合の皆さん、これからも父をよろしく願います。

観光支部 小幡 政男 麻里絵

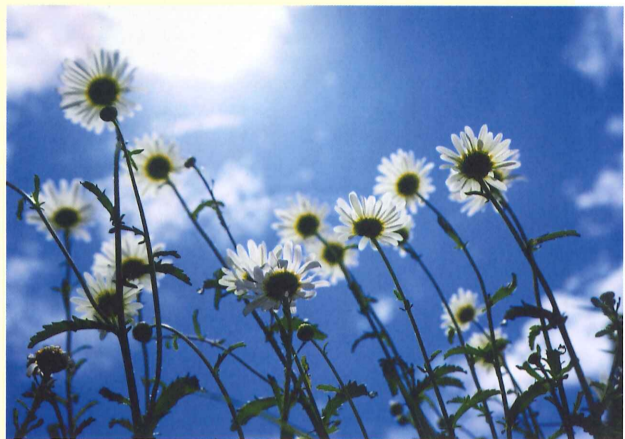
優秀賞



「夏の終わりに」 吉祥寺支部 秋山 裕保さん



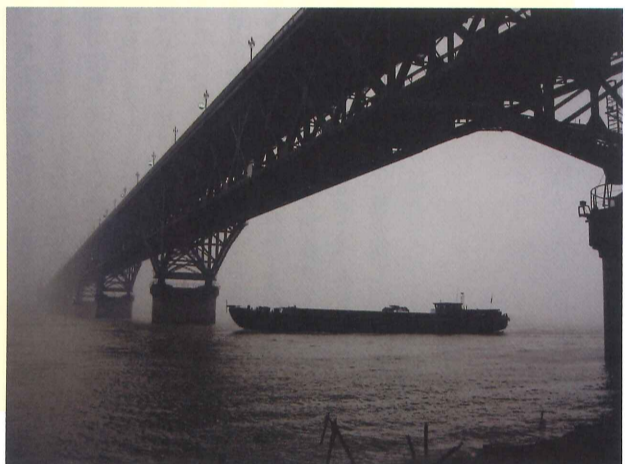
「あの日への帰り道」 内勤分会 小岩井 雄太さん



「Grow」 板橋支部 松原 輝さん



「Body Feels EXIT」 板橋支部 佐藤 賢佑さん



「The Iron Bridge over the Chang Jiang」 丸の内支部 中川 克也さん



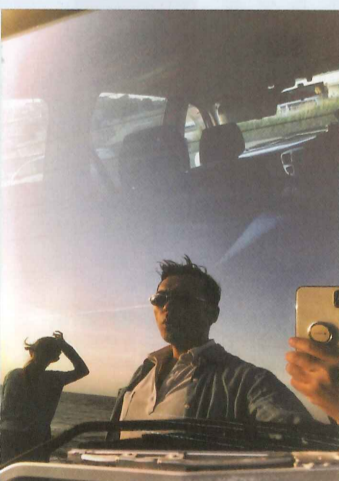
「初めての長岡花火」 足立分会 北野 文也さん



「クロスプレー」 吉祥寺支部 篠宮 哲弥さん



「ハロウィン突入3秒前!」 内勤分会 大谷 香織さん



「四次元の挑戦」 羽田支部 岩城 義隆さん



「輝夜」 羽田支部 市川 貢さん



「ライダー気分!!」 世田谷支部 高橋 徹さん



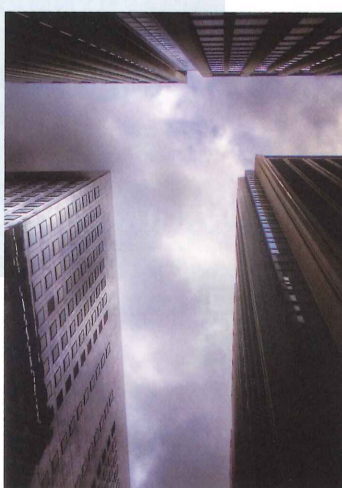
「ぶっだっ!!」 三鷹支部 星山 健一さん



「ピークハント」 丸の内支部 八巻 昭太さん



「冬の到来」 丸の内支部 伊原 保夫さん



「東京、都会、台風の下」 丸の内支部 橋爪 慎二さん

応募人数205名、作品総数450点!
人数・作品数ともに過去最高です!!

第26回 写真コンテスト

総評

応募作品が450点という過去の倍する点数で、審査会場いっぱい埋め尽くした光景は壮観の一言でした。撮影機器の進化、特にスマホなどの端末による手軽な撮影が変化を起し、その波が反映されています。

応募作品は、ベテランたちの作品に「トップの座は譲れない」という力強さを感じました。一方新しい波は、自由な発想で被写体や視点を広げ対抗しているかのようです。撮影技術などはベテランたちには及びませんが、既成概念を突き抜け無制限に広げようとする勢いを感じます。この層が、しっかりとした撮影技術を身に着けると、ベテランたちもウカウカしていません。次回が大いに楽しみです。

個別評

最優秀賞に「台風24号」(富川新一・吉祥寺)が輝きました。台風襲来を題材に、卓越した撮影技術で作品化しています。フロントガラスという仕事を連想さ

せる設定と雨粒越しに霞む街が効果大です。単純に雨粒の面白さだけに終わらせないで、台風と仕事と夜の街という複合的な要素を組み込んだ視点に作者の凄みさえ感じます。

優秀賞は5点です。「夏の終わりに」(秋山裕保・吉祥寺)は、まるで二重写しのような手ブレが思わぬ効果を上げました。二人の夏が思い出のまま終わるのか、いずれにしろ作者だけの心情です。「あの日への帰り道」(小岩井雄太・内勤)走り抜ける電車が閉ざした踏切の向こうにどんな思い出があるのか、電車の行き先に何があるのか、「あの日」と「帰り道」が奇妙な響きを発しています。「Grow」(松原輝・板橋)太陽に向かい大きく成長しようとする植物の生命力を表現されています。逆光で花びらを立体的にとらえフォトジェニックに仕上げたのが成功しました。「Body Feels EXIT」(佐藤賢佑・板橋)世界的名所となった渋谷109に安室奈美恵と外国人観光客を配するというまさに今という時間、平成最後の

の年という歴史の時間をこの何気ない空間に記録されています。「The Iron Bridge over the Chang Jiang」(中川克也・丸の内)中国語を英語にするという意味不明なタイトルでしたが、霧の向こうに消える橋と大型船が、中国という国のスケール感をもつて目に飛び込んできます。

佳作10点です。「初めての長岡花火」(北野文也・足立)画面からはみ出す構成が日本の花火大会の勢いを表現しています。「輝夜」(市川貢・羽田)同じ花火ですが、横浜港の夜景の一部とした視点の広さが目を引きました。「クロスプレー」(篠宮哲弥・吉祥寺)シャッターチャンスが抜群でした。動画にはない迫力とスリリングがあります。「ハロウィン突入3秒前!」(大谷香織・内勤)日常と違った自分を作り出すハロウィンは若い女性に大人気です。室内の片光線が効果的でした。「どうだっ!!」(星山健一・三鷹)なんといつてもいや顔がいい。写真は記録であるが感動も記録の一部です。「四次元の挑

戦」(岩城義隆・羽田)一瞬?が点灯しましたが、自撮りと写りこみの複合する偶然を生かしました。「ライダー気分!!」(高橋徹・世田谷)素晴らしい記念写真です。バイクの前でVサインをさせなかった撮影者の見識が見事です。「ピークハント」(八巻昭太・丸の内)絵葉書のような美しさの中に、ラッセルの連続こそが岳人という心意気までが写っています。「冬の到来」(伊原保夫・丸の内)見事なツララです。背景に秋の陽射がありタイトルが生きています。「東京、都会、台風の下」(橋爪慎二・丸の内)タイトルがいい。ビル群をT字に構成しそのあだに台風の雨雲を入れるというイメージの発展がいい。

佳作

1945年長崎市生まれ。フリーカメラマン。社会・労働・平和問題などドキュメンタリーを中心に取材発表

写真展 05年「長崎—照射する夏」
11年「鎌倉景」
13年「パリの街角」

写真集 「長崎—照射の夏」「鎌倉景」
「パリ漫歩景」

尾辻 弥寿雄氏
Yasuo Otsuji

本年度より新設されました
中央執行部特別賞

「ひかり」 丸の内支部 青島 武利さん

女性の表情が豊かで明るく、かつ力強く、その存在感に圧倒されました。画面全体を赤系統で統一した色彩感覚も画面全体を盛り上げました。